

2026年度授業計画 (シラバス)

3年生

2026年4月1日

お茶の水はりきゅう専門学校

教育課程及び授業時数

1単位時間 45分

		はり師きゆう師学科 (昼間・夜間)										
教育内容	科目名	必修/選択	授業形式	1年		2年		3年		合計		
				単位数	時間数	単位数	時間数	単位数	時間数	単位数	時間数	
基礎分野	科学的思考の基盤及び人間と生活	生物学	必修	講義	2	40					2	40
		心理学Ⅰ	必修	講義			2	40			2	40
		心理学Ⅱ	必修	講義	2	40					2	40
		漢方薬概論	必修	講義	2	40					2	40
		ヘルスプロモーション概論Ⅰ	必修	講義			2	40			2	40
		ヘルスプロモーション概論Ⅱ	必修	講義			2	40			2	40
	栄養学	必修	講義	2	40					2	40	
規則14単位	小計			8	160	6	120	0	0	14	280	
専門基礎分野	人体の構造と機能	解剖学Ⅰ	必修	講義	4	80					4	80
		解剖学Ⅱ	必修	講義	4	80					4	80
		生理学Ⅰ	必修	講義	4	80					4	80
		生理学Ⅱ	必修	講義	4	80					4	80
	規則12単位	小計			16	320	0	0	0	0	16	320
	疾病の成り立ち、その予防及び回復の促進	病理学概論	必修	講義			3	60			3	60
		臨床医学総論	必修	講義			4	80			4	80
		臨床医学各論Ⅰ	必修	講義			4	80			4	80
		臨床医学各論Ⅱ	必修	講義			4	80			4	80
		リハビリテーション医学	必修	講義					3	60	3	60
	衛生学・公衆衛生学	必修	講義			2	40			2	40	
	規則12単位	小計			0	0	17	340	3	60	20	400
	保健医療福祉とはり及びきゆうの理念	医療概論	必修	講義					1	20	1	20
社会保障・医療倫理		必修	講義					1	20	1	20	
関係法規		必修	講義			1	20			1	20	
規則3単位	小計			0	0	1	20	2	40	3	60	
専門分野	基礎はり学 基礎きゆう学	東洋医学概論Ⅰ	必修	講義	4	80					4	80
		経絡経穴概論	必修	講義	4	80					4	80
		鍼灸理論Ⅰ	必修	講義	2	40					2	40
		東洋医学概論Ⅱ	必修	講義			4	80			4	80
	規則9単位	小計			10	200	4	80	0	0	14	280
	臨床はり学 臨床きゆう学	東洋医学臨床論Ⅰ	必修	講義					2	40	2	40
		東洋医学臨床論Ⅱ	必修	講義					2	40	2	40
		東洋医学臨床論Ⅲ	必修	講義					2	40	2	40
		鍼灸理論Ⅱ	必修	講義					2	40	2	40
		生体観察	必修	講義			2	40			2	40
		あはきの適応判断	必修	講義			2	40			2	40
	病態生理学	必修	講義			2	40			2	40	
	規則13単位	小計			0	0	6	120	8	160	14	280
	社会はり学・社会きゆう学	社会はりきゆう学	必修	講義					2	40	2	40
	規則2単位	小計			0	0	0	0	2	40	2	40
	実習	基礎はりきゆう実技Ⅰ	必修	実習	2	80					2	80
		基礎はりきゆう実技Ⅱ	必修	実習	2	80					2	80
		基礎はりきゆう実技Ⅲ	必修	実習			1	40			1	40
		臨床はりきゆう実技Ⅰ	必修	実習			1	40			1	40
		臨床はりきゆう実技Ⅱ	必修	実習			1	40			1	40
		臨床はりきゆう実技Ⅲ	必修	実習			1	40			1	40
		臨床はりきゆう実技Ⅳ	必修	実習			1	40			1	40
		臨床はりきゆう実技Ⅴ	必修	実習			1	40			1	40
		臨床はりきゆう実技Ⅵ	必修	実習					2	80	2	80
		臨床はりきゆう実技Ⅶ	必修	実習					1	40	1	40
	臨床はりきゆう実技Ⅷ	必修	実習	1	40					1	40	
	臨床はりきゆう実技Ⅸ	必修	実習					1	40	1	40	
規則15単位	小計			5	200	6	240	4	160	15	600	
臨床実習 規則4単位	臨床実習	必修	実習					4	180	4	180	
規則19単位	小計			5	200	6	240	8	340	19	780	
総合領域	総合領域Ⅰ	必修	講義					2	40	2	40	
	総合領域Ⅱ	必修	講義					2	40	2	40	
	総合領域Ⅲ	必修	講義					2	40	2	40	
	総合領域Ⅳ	必修	講義					2	40	2	40	
	総合領域Ⅴ	必修	講義					2	40	2	40	
	総合領域Ⅵ	必修	講義					1	20	1	20	
規則10単位	小計			0	0	0	0	11	220	11	220	
合計	必修科目授業時数				880		920		860		2,660	
	選択科目授業時数				0		0		0		0	
	卒業に必要な総授業単位数				39		40		34		113	
	卒業に必要な総授業時数				880		920		860		2,660	

目次

リハビリテーション医学.....	1
医療概論.....	3
社会保障・医療倫理.....	4
東洋医学臨床論Ⅰ（東洋）.....	5
東洋医学臨床論Ⅱ（西洋）.....	7
東洋医学臨床論Ⅲ.....	9
鍼灸理論Ⅱ.....	11
社会はりきゅう学.....	12
臨床はりきゅう実技Ⅸ（トリガー）.....	13
臨床はりきゅう実技Ⅵ（中医）.....	14
臨床はりきゅう実技Ⅶ（婦人科）.....	16
臨床実習.....	17
総合領域Ⅰ（生理）.....	20
総合領域Ⅲ（生理）.....	21
総合領域Ⅱ（生理）.....	22
総合領域Ⅳ（解剖）.....	23
総合領域Ⅴ（解剖）.....	24
総合領域Ⅵ（東医概）.....	25

リハビリテーション医学

[はり師きゅう師学科 昼夜] 3年生 (通年) 3単位 講義

非常勤講師 大島 恒

【一般目標 (GIO)】この授業では障害を有する対象者が多種職により構成されるチーム医療の中で、どのような治療を経て機能改善し社会復帰を果たし「最大限人間らしく生きる権利の復活」を目指していくのかを学ぶ。

【授業概要】講義においてはリハビリテーションの理念や、障害のとらえ方とともに代表的な疾患について勉強する。

【授業計画】 通年

回	項目	到達目標 (授業内容)
1	リハビリテーションと障害	リハビリテーションを支える理念と障害モデルについて理解する。
2	リハビリテーション医学①	リハビリテーション医学の対象、チームアプローチ、リハビリテーションの進め方について理解する。
3	リハビリテーション医学②	リハビリテーション医学の対象、チームアプローチ、リハビリテーションの進め方について理解する。
4	高齢社会 障害の評価①	高齢者の特性、障害高齢者の動向、問題について理解する。 心身機能・活動・参加・合併症・運動麻痺など障害の評価方法を理解する。
5	障害の評価②	心身機能・活動・参加・合併症・運動麻痺など障害の評価方法を理解する。
6	障害の評価③	心身機能・活動・参加・合併症・運動麻痺など障害の評価方法を理解する。
7	医学的リハビリテーション①	理学療法・作業療法・言語聴覚療法・補装具療法など各種の医学的リハビリテーション医学について理解する。
8	医学的リハビリテーション②	理学療法・作業療法・言語聴覚療法・補装具療法など各種の医学的リハビリテーション医学について理解する。
9	医学的リハビリテーション③	理学療法・作業療法・言語聴覚療法・補装具療法など各種の医学的リハビリテーション医学について理解する。
10	医学的リハビリテーション④	理学療法・作業療法・言語聴覚療法・補装具療法など各種の医学的リハビリテーション医学について理解する。
11	医学的リハビリテーション⑤	理学療法・作業療法・言語聴覚療法・補装具療法など各種の医学的リハビリテーション医学について理解する。
12	医学的リハビリテーション⑥	理学療法・作業療法・言語聴覚療法・補装具療法など各種の医学的リハビリテーション医学について理解する。
13	脳卒中のリハビリテーション①	脳卒中のリハビリテーションについて理解する。
14	前期期末試験	
15	脳卒中のリハビリテーション②	脳卒中のリハビリテーションについて理解する。
16	脳卒中のリハビリテーション③	脳卒中のリハビリテーションについて理解する。

17	脊髄損傷のリハビリテーション①	脊髄損傷のリハビリテーションについて理解する。
18	脊髄損傷のリハビリテーション②	脊髄損傷のリハビリテーションについて理解する。
19	切断のリハビリテーション	切断のリハビリテーションについて理解する。
20	小児のリハビリテーション①	小児のリハビリテーションについて理解する。
21	小児のリハビリテーション②	小児のリハビリテーションについて理解する。
22	骨関節疾患のリハビリテーション①	骨関節疾患のリハビリテーションについて理解する。
23	骨関節疾患のリハビリテーション②	骨関節疾患のリハビリテーションについて理解する。
24	関節リウマチのリハビリテーション 末梢神経障害のリハビリテーション①	関節リウマチのリハビリテーションについて理解する。 末梢神経障害のリハビリテーションについて理解する。
25	末梢神経障害のリハビリテーション② パーキンソン病のリハビリテーション	末梢神経障害のリハビリテーションについて理解する。 パーキンソン病のリハビリテーションについて理解する。
26	呼吸器疾患のリハビリテーション	呼吸器疾患のリハビリテーションについて理解する。
27	心疾患のリハビリテーション	心疾患のリハビリテーションについて理解する。
28	運動学のしくみ	運動学のしくみについて理解する。
29	後期期末試験	
30	後期期末試験解説	

【方略】 講義および板書・演習（配布資料）

【評価方法と基準】 期末試験により評価を行う。

【学生の質問への対応】 出勤時間内にて

【教科書】 『リハビリテーション医学テキスト』第2版, 大島恒 [著], 自費出版, 2026

【参考書】 『リハビリテーション医学第4版』 東洋療法学校協会編 (医歯薬出版)

医療概論

[はり師きゅう師学科 昼夜] 3年生 (後期前半) 1単位 講義

専任教員 丸山 真由美

【一般目標 (GIO)】 主要な内容は、古今東西の医学史、および現代の医学と医療。これらを学習することにより、鍼灸師としてのアイデンティティの確立を図る。

【授業概要】 プリントを配布し、それを中心に授業をすすめる。

【授業計画】 後期

回	項目	到達目標 (授業内容)
1	現代医学の課題	プライマリ・ヘルスケア、ターミナルケア、臓器移植について理解する。
2	現代の医療制度	医療従事者、医療施設、医療保険について理解する。
3	高齢者医療	後期高齢者医療、老人福祉法、介護保険法について理解する。
4	医の倫理	医療従事者の倫理について理解する。
5	医学史	エジプト医学、バビロニア医学、ヒポクラテスについて理解する。
6	医学史	17世紀の医学、18世紀の医学、19世紀の医学について理解する。
7	医学史	20世紀の医学、アーユルベーダ、中国医学について理解する。
8	医学史	日本の医学と医療の歴史について理解する。
9	期末試験	期末試験
10	試験解説	試験解説

【方略】 講義 (配布プリント) および演習

【評価方法と基準】 期末試験で評価を行う。

【学生の質問への対応】 授業中、勤務時間内随時

【教科書】 「医療概論」 中川米造監修 医歯薬出版株式会社 他

【参考書】 随時紹介

実務年数 (鍼灸院) 7年

社会保障・医療倫理

[はり師きゅう師学科 昼夜] 3年生 (後期後半) 1単位 講義

専任教員 丸山 真由美

【一般目標 (GIO)】 社会保障制度は、疾病、負傷、分娩、死亡、老齢、失業等の困窮の原因に対し、生活困窮に陥った者に対して最低限の生活の保障をするものであることを理解する。また、医療倫理はすべての医療従事者の倫理的規範となるもので鍼灸師にとっても必要不可欠なものと理解する。

【授業概要】 プリントを配布し、それを中心に授業をすすめる

【授業計画】 後期

回	項目	到達目標 (授業内容)
1	社会福祉	オリエンテーション 高齢者福祉、母子福祉について理解する。
2	社会福祉	児童福祉、障害者福祉について理解する。
3	医療保障	医療保険、公費負担医療について理解する。
4	所得保障	年金制度、生活保護について理解する。
5	医療倫理	患者の自己決定権、生殖医療と倫理等について理解する。
6	医療倫理	職業倫理等について理解する。
7	後期期末試験	後期期末試験
8	試験解説	試験解説
9	総復習	社会福祉 (高齢者福祉)、医療保障 (医療保険)、所得保障 (年金制度) について復習を行う。
10	総復習	医療倫理 (職業倫理等) について復習を行う。

【方略】 講義・配布プリント・演習

【評価方法と基準】 期末試験で評価を行う。

【学生の質問への対応】 授業中、勤務時間内随時

【教科書】

【参考書】 『公衆衛生が見える』 MEDIC MEDIA 他
実務年数 (鍼灸院) 7年

東洋医学臨床論Ⅰ（東洋）

[はり師きゅう師学科 昼夜] 3年生（前期） 2単位 講義

専任教員 梅田 伸威

〔一般目標（GIO）〕

東洋医学の理論をベースに臨床を行う力を養う。

〔授業概要〕

東洋医学概論の復習と応用的な考え方について学ぶ。東洋医学的診断名にあたる証について学習し、類似の証との鑑別や各証に対する治療穴について学習していく。また、鍼灸治療を行うにあたり各症状を呈する患者さんの中で、鍼灸治療不適応となるのはどういうものかについても説明していく。

〔授業計画〕 前期

回	項目	到達目標（授業内容）
1	オリエンテーション 咳嗽と喀痰について	この科目の位置づけと、成績の付け方について説明する。 咳嗽と喀痰について鍼灸治療が不適応となるものの鑑別ポイントと、鍼灸適応となるものの治療法や治療穴について学習する。
2	呼吸困難、鼻閉鼻汁について	呼吸困難、鼻閉鼻汁について鍼灸治療が不適応となるものの鑑別ポイントと、鍼灸適応となるものの治療法や治療穴について学習する。
3	脱毛、耳鳴り・難聴について	脱毛、耳鳴り・難聴について鍼灸治療が不適応となるものの鑑別ポイントと、鍼灸適応となるものの治療法や治療穴について学習する。
4	耳鳴り・難聴、排尿障害について	耳鳴り・難聴、排尿障害について鍼灸治療が不適応となるものの鑑別ポイントと、鍼灸適応となるものの治療法や治療穴について学習する。
5	ED、疲労と倦怠感について	ED、疲労と倦怠感について鍼灸治療が不適応となるものの鑑別ポイントと、鍼灸適応となるものの治療法や治療穴について学習する。
6	発熱について	発熱について鍼灸治療が不適応となるものの鑑別ポイントと、鍼灸適応となるものの治療法や治療穴について学習する。
7	冷え、のぼせ、浮腫について	冷え、のぼせ、浮腫について鍼灸治療が不適応となるものの鑑別ポイントと、鍼灸適応となるものの治療法や治療穴について学習する。
8	掻痒感、肌荒れ、発疹について	掻痒感、肌荒れ、発疹について鍼灸治療が不適応となるものの鑑別ポイントと、鍼灸適応となるものの治療法や治療穴について学習する。
9	顔面麻痺、歩行異常について	顔面麻痺、歩行異常について鍼灸治療が不適応となるものの鑑別ポイントと、鍼灸適応となるものの治療法や治療穴について学習する。
10	中間テスト	
11	テスト返却、口渇について	中間テストの返却と、口渇について鍼灸治療が不適応となるものの鑑別ポイントと、鍼灸適応となるものの治療法や治療穴について学習する。
12	出血傾向、月経異常について	出血傾向、月経異常について鍼灸治療が不適応となるものの鑑別ポイントと、鍼灸適応となるものの治療法や治療穴について学習する。
13	月経異常について	月経異常について鍼灸治療が不適応となるものの鑑別ポイン

		トと、鍼灸適応となるものの治療法や治療穴について学習する。
14	性器出血、帯下について	性器出血、帯下について鍼灸治療が不適応となるものの鑑別ポイントと、鍼灸適応となるものの治療法や治療穴について学習する。
15	不妊、つわりについて	不妊、つわりについて鍼灸治療が不適応となるものの鑑別ポイントと、鍼灸適応となるものの治療法や治療穴について学習する。
16	骨盤位、乳汁分泌不全について	骨盤位、乳汁分泌不全について鍼灸治療が不適応となるものの鑑別ポイントと、鍼灸適応となるものの治療法や治療穴について学習する。
17	小児疳の虫、夜尿症について	小児疳の虫、夜尿症について鍼灸治療が不適応となるものの鑑別ポイントと、鍼灸適応となるものの治療法や治療穴について学習する。
18	小児喘息、認知症について	小児喘息、認知症について鍼灸治療が不適応となるものの鑑別ポイントと、鍼灸適応となるものの治療法や治療穴について学習する。
19	期末テスト	
20	テスト返却	期末テストについて解説を行い、テスト内容の確認を行う。

【方略】 講義

【評価方法と基準】 中間試験、期末試験を総合して評価を行う。

【学生の質問への対応】 授業中、勤務時間内随時

【教科書】 「新版 東洋医学臨床論（はりきゅう編）」 南江堂

【参考書】 鍼灸学臨床編、他
実務年数（鍼灸院） 21年

東洋医学臨床論Ⅱ（西洋）

[はり師きゅう師学科 昼夜] 3年生（前期）2単位 講義

専任教員 松本 絹恵

【一般目標（GIO）】 鍼灸臨床において必要な現代医学的な知識を理解し、実際の臨床にあたってこれを応用して治療の適応・不適応の判断、適切で確実な施術方法を定めるうえで、対象となる患者の状態を正確に把握し、病状と疾病を判断する能力を身に付ける。

【授業概要】 現代医学的な知識を元に、徒手検査やデルマトーム等を考慮しながら障害部位を把握し、症状や病状を判断していく能力を身につける。

【授業計画】 前期

回	項目	到達目標（授業内容）
1	オリエンテーション 頭痛	オリエンテーション 頭痛について病状と疾病の現代医学的な考え方を理解する。
2	顔面痛、顔面神経麻痺	顔面痛、顔面神経麻痺について病状と疾病の現代医学的な考え方を理解する。
3	上肢痛	上肢痛について病状と疾病の現代医学的な考え方を理解する。
4	肩関節痛	肩関節痛について病状と疾病の現代医学的な考え方を理解する。
5	頸肩腕痛	頸肩腕痛について病状と疾病の現代医学的な考え方を理解する。
6	腰下肢痛	腰下肢痛について病状と疾病の現代医学的な考え方を理解する。
7	膝痛	膝痛について病状と疾病の現代医学的な考え方を理解する。
8	下肢痛	下肢痛について病状と疾病の現代医学的な考え方を理解する。
9	関節痛、歩行異常、胸痛	関節痛、歩行異常、胸痛について病状と疾病の現代医学的な考え方を理解する。
10	排尿障害、ED(勃起障害)	排尿障害、ED(勃起障害)について病状と疾病の現代医学的な考え方を理解する。
11	月経異常	月経異常について病状と疾病の現代医学的な考え方を理解する。
12	腹痛、便秘・下痢	腹痛、便秘・下痢について病状と疾病の現代医学的な考え方を理解する。
13	眼精疲労、睡眠障害、 食欲不振、肥満	眼精疲労、睡眠障害、食欲不振、肥満について病状と疾病の現代医学的な考え方を理解する。
14	鼻閉・鼻汁、咳嗽、喘息	鼻閉・鼻汁、咳嗽、喘息について病状と疾病の現代医学的な考え方を理解する。
15	冷え、のぼせ、耳鳴り・ 難聴、めまい	冷え、のぼせ、耳鳴り・難聴、めまいについて病状と疾病の現代医学的な考え方を理解する。
16	スポーツ外傷・障害 (肩)	スポーツ外傷・障害(肩)について病状と疾病の現代医学的な考え方を理解する。
17	スポーツ外傷・障害 (肘)	スポーツ外傷・障害(肘)について病状と疾病の現代医学的な考え方を理解する。
18	小児、老年	小児、老年について病状と疾病の現代医学的な考え方を理解する。
19	前期期末試験	学習の内容が定着しているか確認する。
20	試験解説	期末試験の解説を行い、理解を深める。

【方略】 講義・配布資料・演習問題

【評価方法と基準】 期末試験で評価を行う。

【学生の質問への対応】 授業中、勤務時間内随時

【教科書】 なし

【参考書】 「症状別看護過程」「整形外科疾患ビジュアルブック」「病気がみえるシリーズ」「鍼灸療法技術ガイドⅠ・Ⅱ」等

実務年数（鍼灸院） 15年

東洋医学臨床論Ⅲ

[はり師きゅう師学科 昼夜] 3年生 (後期) 2単位 講義

専任教員 松本 絹恵

【一般目標 (GIO)】 鍼灸臨床において必要な現代医学的・東洋医学的な知識を理解し、実際の臨床にあたってこれを応用して治療の適応・不適応の判断、適切で確実な施術方法を定めるうえで、対象となる患者の状態を正確に把握し、病状と疾病を判断する能力を身に付ける。

【授業概要】 現代医学的・東洋医学的な知識を元に、徒手検査やデルマトーム、弁証や治法を考慮しながら障害部位や身体の状態を把握し、症状や病状を判断していく能力を身につける。

【授業計画】 後期

回	項目	到達目標 (授業内容)
1	オリエンテーション 頭痛、顔面痛	オリエンテーション 頭痛、顔面痛について病状と疾病の現代医学的、東洋医学的な考え方を理解する。
2	顔面麻痺、歯痛(顎関節痛)、眼精疲労	顔面麻痺、歯痛(顎関節痛)、眼精疲労について病状と疾病の現代医学的、東洋医学的な考え方を理解する。
3	鼻閉鼻汁、脱毛症、めまい	鼻閉鼻汁、脱毛症、めまいについて病状と疾病の現代医学的、東洋医学的な考え方を理解する。
4	耳鳴り・難聴、咳嗽、喘息	耳鳴り、難聴、咳嗽、喘息について病状と疾病の現代医学的、東洋医学的な考え方を理解する。
5	胸痛、腹痛、便秘・下痢	胸痛、腹痛、便秘・下痢について病状と疾病の現代医学的、東洋医学的な考え方を理解する。
6	月経異常	月経異常について病状と疾病の現代医学的、東洋医学的な考え方を理解する。
7	排尿障害、ED(勃起障害)	排尿障害、ED(勃起障害)について病状と疾病の現代医学的、東洋医学的な考え方を理解する。
8	肩こり、頸肩腕痛	肩こり、頸肩腕痛について病状と疾病の現代医学的、東洋医学的な考え方を理解する。
9	肩関節痛	肩関節痛について病状と疾病の現代医学的、東洋医学的な考え方を理解する。
10	上肢痛	上肢痛について病状と疾病の現代医学的、東洋医学的な考え方を理解する。
11	腰下肢痛	腰下肢痛について病状と疾病の現代医学的、東洋医学的な考え方を理解する。
12	膝痛、運動麻痺	膝痛、運動麻痺について病状と疾病の現代医学的、東洋医学的な考え方を理解する。
13	高血圧、低血圧、食欲不振、肥満、発熱、のぼせと冷え	高血圧、低血圧、食欲不振、肥満、発熱、のぼせと冷えについて病状と疾病の現代医学的、東洋医学的な考え方を理解する。
14	不眠、疲労・倦怠、発疹、小児	不眠、疲労・倦怠、発疹、小児について病状と疾病の現代医学的、東洋医学的な考え方を理解する。
15	スポーツ外傷・障害	スポーツ外傷・障害について病状と疾病の現代医学的、東洋医学的な考え方を理解する。

16	老年、治療原則	老年について病状と疾病の現代医学的、東洋医学的な考え方を理解する。治療原則についての考え方を理解する。
17	後期期末試験	学習の内容が定着しているか確認する。
18	試験解説	期末試験の解説を行い、理解を深める。
19	総復習	現代医学的な治療の考え方の総復習をする。
20	総復習	東洋医学的な治療の考え方の総復習をする。

【方略】 講義・配布資料・演習問題

【評価方法と基準】 期末試験で評価を行う。

【学生の質問への対応】 授業中、勤務時間内随時

【教科書】 なし

【参考書】 「症状別看護過程」「整形外科疾患ビジュアルブック」「病気がみえるシリーズ」「鍼灸療法技術ガイドⅠ・Ⅱ」等
実務年数（鍼灸院）15年

鍼灸理論Ⅱ

[はり師きゅう師学科 昼夜] 3年生 (前期) 2単位 講義

非常勤講師 大島 恒

【一般目標 (GIO)】 鍼施術および灸施術が身体に及ぼす影響についての生理学的理解を深める。

【授業概要】 教科書に沿って講義をおこなう。

【授業計画】 前期

回	項目	到達目標 (授業内容)
1	鍼灸の治療的作用	鍼灸が西洋医学的にどのような治療的作用をもつかを理解する。
2	神経系とは	神経系の概略を理解し、その役割を考える。
3	ニューロンの興奮	ニューロンにインパルスがおこるメカニズムを理解する。
4	シナプス伝達	シナプス伝達のメカニズムを理解する。
5	感覚の分類	感覚の分類方法を理解する。
6	感覚受容器と伝導路	さまざまな体性感覚の受容器について理解する。
7	感覚伝導路	さまざまな体性感覚について、末梢から脳に至る経路を理解する。
8	触圧覚	触圧覚の特徴、受容器、求心性神経線維、伝導路について理解する。
9	温覚と冷覚	温覚と冷覚の特徴、受容器、求心性神経線維、伝導路について理解する。
10	痛覚一般	痛覚の分類と特徴、受容器、求心性神経線維について理解する。
11	痛覚伝導路	痛覚の中枢内伝導路について理解する。
12	さまざまな痛覚	体性痛覚と内臓痛覚の特徴を理解する。
13	自律神経系一般	自律神経系の特徴を理解する。
14	鍼灸と自律神経系	鍼灸刺激が自律神経系に与える影響を理解する。
15	反射一般	さまざまな反射の分類方法を理解する。
16	軸索反射	軸索反射のメカニズムを理解する。
17	炎症反応	急性炎症でおこるさまざまな現象を理解する。
18	鍼灸と生体防御機構	鍼灸刺激が生体防御機構に与える影響を理解する。
19	期末試験	
20	試験の解答と解説	

【方略】 講義および板書

【評価方法と基準】 期末試験により評価を行う。

【学生の質問への対応】 出勤時間内にて

【教科書】 『鍼灸理論テキスト』第11版, 大島恒 [著], 自費出版, 2020

【参考書】 特になし

社会はりきゅう学

[はり師きゅう師学科 昼夜] 3年生 (後期) 2単位 講義

専任教員 松本 絹恵・片山玲美

【一般目標 (GIO)】 近年、鍼灸師の活躍の場は益々広がってきている。国内のみならず、全世界の人々の健康維持・増進に鍼灸師がどのように寄与していけるのか、当授業を通じ人々のニーズをしっかりと把握する。

【授業概要】 プロジェクターなどを用いて授業をすすめる。

【授業計画】 後期

回	項目	到達目標 (授業内容)
1	再生医療と鍼灸	再生医療の現在と機能再生士としての鍼灸師の役割について学ぶ。
2	再生医療と鍼灸	再生医療の現在と機能再生士としての鍼灸師の役割について学ぶ。
3	訪問鍼灸	在宅治療の実際と高齢者に対する鍼灸師の役割を学ぶ。
4	訪問鍼灸	在宅治療の実際と高齢者に対する鍼灸師の役割を学ぶ。
5	自宅開業	自宅で開業する方法やその注意点などについて学ぶ。
6	自宅開業	自宅で開業する方法やその注意点などについて学ぶ。
7	施術所開業	施術所の開業について学ぶ。
8	施術所開業	施術所の開業について学ぶ。
9	SNS 対策	SNS の上手な利用方法と注意点について学ぶ。
10	SNS 対策	SNS の上手な利用方法と注意点について学ぶ。
11	メディカルツーリズム	インバウンド需要増大に伴う鍼灸師の役割について学ぶ。
12	メディカルツーリズム	インバウンド需要増大に伴う鍼灸師の役割について学ぶ。
13	鍼灸とアマチュアスポーツ	鍼灸師の高校部活動帯同について学ぶ。
14	鍼灸とアマチュアスポーツ	鍼灸師の高校部活動帯同について学ぶ。
15	海外の鍼灸事情	モクサアフリカの活動について学ぶ。
16	海外の鍼灸事情	モクサアフリカの活動について学ぶ。
17	鍼灸と研究	鍼灸の研究について学ぶ。
18	鍼灸と研究	鍼灸の研究について学ぶ。
19	期末試験	1～18 の内容が見についているか確認する。
20	フィードバック	試験のフィードバックを行う。

【方略】 講義・配布資料・演習

【評価方法と基準】 期末試験で評価を行う。

【学生の質問への対応】 授業中、勤務時間内随時

【教科書】

【参考書】

臨床はりきゅう実技IX（トリガー）

[はり師きゅう師学科 昼夜] 3年生（前期） 1単位 実習

非常勤講師 森田 義之

【一般目標（GIO）】 現代鍼灸療法であるトリガーポイント鍼療法の知識と技術を習得する。

【授業概要】 解剖学、運動学に基づいた経穴部以外のトリガーポイントが形成されやすい筋肉、筋膜、腱、靭帯、骨膜に刺鍼を行う。一定以上の技術、知識を習得した者にはC級ライセンスが授与される

【授業計画】 前期

回	項目	到達目標（授業内容）
1	オリエンテーション	C級ライセンスの説明など、オリエンテーションを行う。
2	トリガーポイント触察法	トリガーポイントの捜し方、刺鍼方法の習得
3	僧帽筋の触察・刺鍼方法	目的とする筋肉を理解し、3Dでイメージし、刺鍼できる
4	肩甲挙筋の触察・刺鍼方法	目的とする筋肉を理解し、3Dでイメージし、刺鍼できる
5	頭半棘筋の触察・刺鍼方法	目的とする筋肉を理解し、3Dでイメージし、刺鍼できる
6	頭・頸板状筋の触察・刺鍼方法	目的とする筋肉を理解し、3Dでイメージし、刺鍼できる
7	三角筋の触察・刺鍼方法	目的とする筋肉を理解し、3Dでイメージし、刺鍼できる
8	肩甲下筋の触察・刺鍼方法	目的とする筋肉を理解し、3Dでイメージし、刺鍼できる
9	脊柱起立筋の触察	目的とする筋肉を理解し、3Dでイメージできる
10	大臀筋の触察・刺鍼方法	目的とする筋肉を理解し、3Dでイメージし、刺鍼できる
11	中・小殿筋の触察・刺鍼方法	目的とする筋肉を理解し、3Dでイメージし、刺鍼できる
12	大腿四頭筋の触察・刺鍼方法	目的とする筋肉を理解し、3Dでイメージし、刺鍼できる
13	半腱・半膜様筋の触察・刺鍼方法	目的とする筋肉を理解し、3Dでイメージし、刺鍼できる
14	腓腹筋・ヒラメ筋の触察・刺鍼方法	目的とする筋肉を理解し、3Dでイメージし、刺鍼できる
15	前脛骨筋の触察・刺鍼方法	目的とする筋肉を理解し、3Dでイメージし、刺鍼できる
16	運動器疾患以外の適応	トリガーポイント鍼療法の適応疾患についての理解
17	まとめ、復習	まとめ、復習を行う。
18	定期試験	期末試験（筆記、実技）にて、到達レベルを判定する。
19	定期試験	期末試験（筆記、実技）にて、到達レベルを判定する。
20	質疑応答	半期の授業全体における質疑応答を行う。

【方略】 プリント、板書、演習

【評価方法と基準】 期末試験で評価を行う。

【学生の質問への対応】 出勤時間内に対応

【教科書】 随時紹介

【参考書】 随時紹介

実務年数（鍼灸院）31年

臨床はりきゅう実技VI

[はり師きゅう師学科 昼夜] 3年生 (通年) 2単位 実習

非常勤講師 石塚 僚司

【一般目標 (GIO)】安全に中国鍼を刺鍼出来る様にする。また、東洋医学的な考え方にに基づき、臨床上遭遇しやすい疾患を中心に、疾患ごとの治療法を習得する。最終的に様々な疾患に対し、東洋医学的な考え方に基づいた診断・治療が行えるようになることを目標とする。さらに、臨床上役に立つ応用技術も習得する。

【授業概要】5F 実技室を使用し、デモンストレーションを行い、実際に解剖学的に危険な部位への刺し方や臨床的な意義を学び、東洋医学的な鍼灸を学んでいく。

【授業計画】 通年

回	項目	到達目標 (授業内容)
1	各経脈への刺鍼練習	中国鍼刺鍼練習
2	各経脈への刺鍼練習	大腸経への刺鍼練習・大腸の病証についての鍼
3	各経脈への刺鍼練習	胃経への刺鍼練習
4	各経脈への刺鍼練習	胃経への刺鍼練習
5	各経脈への刺鍼練習	胃の病証についての鍼
6	各経脈への刺鍼練習	小腸経への刺鍼練習
7	各経脈への刺鍼練習	小腸の病証についての鍼
8	各経脈への刺鍼練習	膀胱経への刺鍼練習
9	各経脈への刺鍼練習	膀胱経への刺鍼練習
10	各経脈への刺鍼練習	膀胱の病証についての鍼
11	各経脈への刺鍼練習	胆経への刺鍼練習
12	各経脈への刺鍼練習	胆経への刺鍼練習
13	各経脈への刺鍼練習	胆の病証についての鍼
14	各経脈への刺鍼練習	三焦経への刺鍼練習
15	各経脈への刺鍼練習	三焦の病証についての鍼
16	前期期末試験	実技試験
17	前期期末試験	実技試験
18	各経脈への刺鍼練習	復習・その他
19	各経脈への刺鍼練習	復習・その他
20	各経脈への刺鍼練習	肺経への刺鍼練習
21	各経脈への刺鍼練習	肺の病証についての鍼
22	各経脈への刺鍼練習	脾経への刺鍼練習
23	各経脈への刺鍼練習	脾の病証についての鍼
24	各経脈への刺鍼練習	心経への刺鍼練習
25	各経脈への刺鍼練習	心の病証についての鍼
26	各経脈への刺鍼練習	腎経への刺鍼練習
27	各経脈への刺鍼練習	腎の病証についての鍼
28	各経脈への刺鍼練習	心包経への刺鍼練習
29	各経脈への刺鍼練習	心包の病証についての鍼

30	各経脈への刺鍼練習	肝経への刺鍼練習
31	各経脈への刺鍼練習	肝の病証についての鍼
32	応用	ここまでの復習もしくは奇穴
33	応用	ここまでの復習もしくは奇穴
34	後期期末試験	実技試験
35	後期期末試験	実技試験
36	応用、まとめ	応用
37	応用、まとめ	応用
38	応用、まとめ	応用
39	応用、まとめ	応用
40	応用、まとめ	総復習

【方略】 板書・配布資料・デモンストレーションなど

【評価方法と基準】 実技試験・授業態度を総合して評価する

【学生の質問への対応】 学校内（月曜）

【教科書】 新版 東洋医学臨床論（はりきゅう編）（南江堂）・経絡経穴概論第2版（医道の日本社）

【参考書】 なし

実務年数（鍼灸院） 22年

臨床はりきゅう実技Ⅶ（婦人科）

[はり師きゅう師学科 昼夜] 3年生（後期） 1単位 実習

非常勤講師 北村 恵実子

【一般目標（GIO）】 婦人科領域の鍼灸治療の知識と技術を習得する。

【授業概要】 鍼灸を取り巻く情勢が変わりつつあるが、特に、女性の各ライフステージで生じるトラブルに、鍼灸を選択されるようになってきている。冷え性、月経トラブル、不妊、つわり、更年期などの女性ならではの不調、そして、美容領域まで、幅広いニーズがある。臨床現場ですぐに使える知識や技術を学習していく。

【授業計画】 後期

回	項目	到達目標（授業内容）
1	オリエンテーション	経絡治療、婦人科鍼灸全般のオリエンテーション
2	基本的な刺鍼・施灸の復習	刺鍼・施灸の学習・練習
3	経絡治療について（六十九難型治療）	六十九難型治療・比較脈診の学習・練習
4	婦人科疾患のアプローチについて①-1	症状別の学習・練習（冷え性）①
5	婦人科疾患のアプローチについて①-2	症状別の学習・練習（冷え性）②
6	婦人科疾患のアプローチについて②-1	症状別の学習・練習（イライラ）①
7	婦人科疾患のアプローチについて②-2	症状別の学習・練習（イライラ）②
8	経絡治療について（六十八難型治療）	六十八難型治療・脈状診の学習・練習
9	婦人科疾患のアプローチについて③-1	症状別の学習・練習（不妊症）①
10	婦人科疾患のアプローチについて③-2	症状別の学習・練習（不妊症）②
11	婦人科疾患のアプローチについて④-1	症状別の学習・練習（更年期症状）①
12	婦人科疾患のアプローチについて④-2	症状別の学習・練習（更年期症状）②
13	婦人科疾患のアプローチについて⑤	症状別の学習・練習（マタニティ）
14	期末試験-1	期末試験（実技・筆記）①
15	期末試験-2	期末試験（実技・筆記）②
16	期末試験総評	期末試験の返却とフィードバック
17	婦人科疾患のアプローチについてまとめ-1	総合演習（復習）①
18	婦人科疾患のアプローチについてまとめ-2	総合演習（復習）②
19	婦人科疾患のアプローチについてまとめ-3	総合演習（復習）③
20	婦人科疾患のアプローチについてまとめ-4 追再試験	総合演習（復習）④ 追再試験（実技・筆記）

【方略】 プリント、板書、演習

【評価方法と基準】 期末試験で評価を行う。

【学生の質問への対応】 出勤時間内に対応

【教科書】 随時紹介

実務年数（鍼灸院）24年

臨床実習

[はり師きゅう師学科 昼夜] 3年生 (通年) 4単位 実習

専任教員 岩瀬敏文・松本絹恵・梅田伸威

【一般目標 (GIO)】 臨床現場において、医療面接から病能把握がスムーズに行え、施術方針の決定から施術が行えるようになる。

【授業概要】 5F実習室と治療院を使用し、グループごとに、見学からはじまり、医療面接・検査法を行い、指導者のもと施術する。

【授業計画】 通年

回	項目	到達目標 (授業内容)
1	オリエンテーション①	臨床実習に参加するための知識力のチェック
2	オリエンテーション②	臨床実習に参加するための知識力のチェック
3	オリエンテーション③	臨床実習にあたり患者に対する心構え
4	オリエンテーション④	臨床実習の流れ
5	臨床実習	治療院のベットサイド実習
6	臨床実習	治療院のベットサイド実習
7	臨床実習	治療院のベットサイド実習
8	臨床実習	治療院のベットサイド実習
9	臨床実習	治療院のベットサイド実習
10	臨床実習	治療院のベットサイド実習
11	臨床実習	治療院のベットサイド実習
12	臨床実習	治療院のベットサイド実習
13	臨床実習	治療院のベットサイド実習
14	臨床実習	治療院のベットサイド実習
15	臨床実習	治療院のベットサイド実習
16	臨床実習	治療院のベットサイド実習
17	臨床実習	治療院のベットサイド実習
18	臨床実習	治療院のベットサイド実習
19	臨床実習	治療院のベットサイド実習
20	臨床実習	治療院のベットサイド実習
21	臨床実習	治療院のベットサイド実習
22	臨床実習	治療院のベットサイド実習
23	臨床実習	治療院のベットサイド実習
24	臨床実習	治療院のベットサイド実習
25	臨床実習	治療院研修
26	臨床実習	治療院研修
27	臨床実習	治療院のベットサイド実習
28	臨床実習	治療院のベットサイド実習
29	臨床実習	治療院のベットサイド実習
30	臨床実習	治療院のベットサイド実習
31	臨床実習	治療院のベットサイド実習

32	臨床実習	治療院のベットサイド実習
33	臨床実習	治療院のベットサイド実習
34	臨床実習	治療院のベットサイド実習
35	臨床実習	治療院研修
36	臨床実習	治療院研修
37	臨床実習	治療院のベットサイド実習
38	臨床実習	治療院のベットサイド実習
39	臨床実習	治療院のベットサイド実習
40	臨床実習	治療院のベットサイド実習
41	臨床実習	治療院のベットサイド実習
42	臨床実習	治療院のベットサイド実習
43	臨床実習	治療院のベットサイド実習
44	臨床実習	治療院のベットサイド実習
45	臨床実習	治療院のベットサイド実習
46	臨床実習	治療院のベットサイド実習
47	臨床実習	治療院のベットサイド実習
48	臨床実習	治療院のベットサイド実習
49	臨床実習	治療院のベットサイド実習
50	臨床実習	治療院のベットサイド実習
51	臨床実習	治療院研修
52	臨床実習	治療院研修
53	臨床実習	臨床実習に参加するための知識力のチェック
54	臨床実習	臨床実習に参加するための知識力のチェック
55	臨床実習	治療院のベットサイド実習
56	臨床実習	治療院のベットサイド実習
57	臨床実習	治療院のベットサイド実習
58	臨床実習	治療院のベットサイド実習
59	臨床実習	治療院のベットサイド実習
60	臨床実習	治療院のベットサイド実習
61	臨床実習	治療院のベットサイド実習
62	臨床実習	治療院のベットサイド実習
63	臨床実習	治療院研修
64	臨床実習	治療院研修
65	臨床実習	治療院のベットサイド実習
66	臨床実習	治療院のベットサイド実習
67	臨床実習	治療院のベットサイド実習
68	臨床実習	治療院のベットサイド実習
69	臨床実習	治療院のベットサイド実習
70	臨床実習	治療院のベットサイド実習
71	臨床実習	治療院のベットサイド実習

72	臨床実習	治療院のベットサイド実習
73	臨床実習	治療院のベットサイド実習
74	臨床実習	治療院のベットサイド実習
75	臨床実習	治療院のベットサイド実習
76	臨床実習	治療院のベットサイド実習
77	臨床実習	治療院のベットサイド実習
78	臨床実習	治療院のベットサイド実習
79	臨床実習	治療院のベットサイド実習
80	臨床実習	治療院のベットサイド実習
81	臨床実習	治療院のベットサイド実習
82	臨床実習	治療院のベットサイド実習
83	臨床実習	治療院のベットサイド実習
84	臨床実習	治療院のベットサイド実習
85	臨床実習	治療院のベットサイド実習
86	臨床実習	治療院のベットサイド実習
87	臨床実習	治療院のベットサイド実習
88	臨床実習	治療院のベットサイド実習
89	臨床実習	治療院のベットサイド実習
90	臨床実習	治療院のベットサイド実習

【方略】 実技演習とベットサイド

【評価方法と基準】 出席・提出物により評価。

【学生の質問への対応】 授業中・勤務時間内随時

【教科書】

【参考書】

実務年数（鍼灸院）

岩瀬 15 年

松本 15 年

梅田 21 年

総合領域 I (生理)

[はり師きゅう師学科 昼夜] 3年生 (前期) 2単位 講義

非常勤講師 大島 恒

【一般目標 (GIO)】 人体の生理機能についての理解を深めるとともに、その異常としてのさまざまな病態について、これらを結びつけて考えられるようにする。

【授業概要】 生理学の内容を分野別に整理するとともに、病態生理学を理解し、疾病への理解を深める。

【授業計画】 前期

回	項目	到達目標 (授業内容)
1	ATP 産生	解糖およびミトコンドリアの機能について理解する。
2	膜輸送	能動輸送・受動輸送について理解する。
3	浸透圧	体液浸透圧、血漿膠質浸透圧について理解する。
4	浮腫①	浮腫がおこるメカニズムを理解する。
5	浮腫②	浮腫をきたすさまざまな疾患を理解する。
6	酸塩基平衡 (pH) ①	酸塩基平衡について理解する。
7	酸塩基平衡 (pH) ②	アシドーシスとアルカローシスについて理解する。
8	赤血球	赤血球とヘマトクリット値について理解する。
9	黄疸①	ビリルビン代謝と黄疸について理解する。
10	黄疸②	黄疸をきたすさまざまな疾患を理解する。
11	貧血	さまざまな貧血のメカニズムを理解する。
12	血小板と血液凝固因子	血小板と血液凝固因子について理解する。
13	出血傾向	出血傾向について理解する。
14	血栓・塞栓	血栓・塞栓について理解する。
15	梗塞	梗塞について理解する。
16	心臓①	心臓のはたらきについて理解する。
17	心臓②	心臓のはたらきについて理解する。
18	心周期	心周期について理解する。
19	期末試験	
20	試験の解答と解説	

【方略】 講義および板書

【評価方法と基準】 期末試験により評価を行う。

【学生の質問への対応】 出勤時間内にて

【教科書】 自作プリントを配布して授業をすすめていく。

【参考書】

総合領域Ⅲ（生理）

〔はり師きゅう師学科 昼夜〕 3年生（後期） 2単位 講義

非常勤講師 大島 恒

〔一般目標（GIO）〕 人体の生理機能についての理解を深めるとともに、その異常としてのさまざまな病態について、これらを結びつけて考えられるようにする。

〔授業概要〕 生理学の内容を分野別に整理するとともに、病態生理学を理解し、疾病への理解を深める。

〔授業計画〕 後期

回	項目	到達目標（授業内容）
1	肝臓	肝臓について理解する。
2	肝炎	肝炎について理解する。
3	肝硬変・肝癌	肝硬変・肝癌について理解する。
4	腎臓	腎臓について理解する。
5	糸球体腎炎	糸球体腎炎・ネフローゼ症候群について理解する。
6	腎盂腎炎	腎盂腎炎について理解する。
7	腎不全	腎不全について理解する。
8	蓄尿と排尿	蓄尿と排尿について理解する。
9	甲状腺ホルモン	甲状腺ホルモンとその分泌異常について理解する。
10	副甲状腺ホルモン	副甲状腺ホルモンとカルシウム代謝について理解する。
11	副腎皮質ホルモン	副腎皮質ホルモンについて理解する。
12	副腎皮質ホルモン	副腎皮質ホルモンの分泌異常について理解する。
13	カテコラミン	カテコラミンとその分泌異常について理解する。
14	血糖値	血糖の調節メカニズムについて理解する。
15	まとめ	生理学総復習①
16	まとめ	生理学総復習②
17	期末試験	
18	試験の解答と解説	
19	まとめ	生理学総復習③
20	まとめ	生理学総復習④

〔方略〕 講義および板書

〔評価方法と基準〕 期末試験により評価を行う。

〔学生の質問への対応〕 出勤時間内にて

〔教科書〕 自作プリントを配布して授業をすすめていく。

〔参考書〕

総合領域Ⅱ（生理）

[はり師きゅう師学科 昼夜] 3年生（後期） 2単位 講義

非常勤講師 大島 恒

【一般目標（GIO）】 人体の生理機能についての理解を深めるとともに、その異常としてのさまざまな病態について、これらを結びつけて考えられるようにする。

【授業概要】 生理学の内容を分野別に整理するとともに、病態生理学を理解し、疾病への理解を深める。

【授業計画】 後期

回	項目	到達目標（授業内容）
1	虚血性心疾患	虚血性心疾患について理解する。
2	心不全	右心不全。左心不全について理解する。
3	ショック	ショックの病態と分類について理解する。
4	リンパ循環	リンパ循環とその異常について理解する。
5	呼吸のメカニズム	呼吸のメカニズムについて理解する。
6	肺気量	肺気量について理解する。
7	閉塞性換気障害	閉塞性換気障害について理解する。
8	拘束性換気障害	拘束性換気障害について理解する。
9	結核	結核について理解する。
10	肺炎	肺炎について理解する。
11	肺癌	肺癌について理解する。
12	胸膜	胸膜、胸水と気胸について理解する。
13	胃	胃について理解する。
14	消化性潰瘍と胃炎	消化性潰瘍と胃炎について理解する。
15	まとめ	生理学総復習①
16	まとめ	生理学総復習②
17	期末試験	
18	試験の解答と解説	
19	まとめ	生理学総復習③
20	まとめ	生理学総復習④

【方略】 講義および板書

【評価方法と基準】 期末試験により評価を行う。

【学生の質問への対応】 出勤時間内にて

【教科書】 自作プリントを配布して授業をすすめていく。

【参考書】

総合領域Ⅳ（解剖）

〔はり師きゅう師学科 昼夜〕 3年生（前期） 2単位 講義

専任教員 澤口 真也

【一般目標（GIO）】人体の構造と機能を理解し、その名称や作用などを確認することで、西洋医学的な知識と、経穴を中心とする東洋医学的な知識が繋がるように復習する。

【授業概要】総合領域では、人体の基本的な構造と機能を再確認すると同時に、経絡経穴との関連性が身に付くよう復習する。随時練習問題を解き、国家試験に対する問題解答力の向上を図る。

【授業計画】 前期

回	項目	到達目標（授業内容）
1	オリエンテーション 人体の構成	授業ガイダンス 細胞、体液と恒常性、組織と器官を復習し、演習を行う。
2	運動器系総論	運動器系とは、運動の仕組み、解剖学的用語、骨の構造と機能などを復習し、演習を行う。
3	全身骨格 1	脊柱、胸郭、上肢の骨格を復習し、演習を行う。
4	全身の骨格 2	下肢の骨格、頭蓋骨、関節可動域を復習し、演習を行う。
5	全身の骨格筋 1	体幹部の筋、上腕の筋を復習し、演習を行う。
6	全身の骨格筋 2	前腕・手の筋を復習し、演習を行う。
7	体幹の筋と経穴	体幹部の筋と経穴の関係性を復習し、演習を行う。
8	上肢の筋と経穴	上肢の筋と経穴の関係性を復習し、演習を行う。
9	全身の骨格筋 3	下肢の筋を復習し、演習を行う。
10	全身の骨格筋 4	頭頸部の筋を復習し、演習を行う。
11	下肢の筋と経穴	下肢の筋と経穴の関係性を復習し、演習を行う。
12	頭頸部の筋と経穴	頭頸部の筋と経穴の関係性を復習し、演習を行う。
13	神経系 1	神経系と神経組織を復習し、演習を行う。
14	神経系 2	中枢神経系を復習し、演習を行う。
15	神経系 3	伝導路と運動調節、末梢神経系を復習し、演習を行う。
16	感覚器系 1	感覚の一般的性質、視覚、聴覚を復習し、演習を行う。
17	感覚器系 2	平衡感覚、嗅覚、体性感覚と内臓感覚、痛覚を復習し、演習を行う。
18	総復習	練習問題を解き、復習する。
19	定期試験	理解度の確認。4者択一問題
20	試験返却・解説	定期試験の解答・解説

【方略】講義（教科書、配布資料）、および板書、配布資料

【評価方法と基準】期末試験で評価を行う。

【学生の質問への対応】授業内、授業後、その他

【教科書】社団法人 東洋療法学校協会編集 内田させ・鍵谷方子・原田晃・原田彰宏 著
「解剖生理 第1版」 医歯薬出版株式会社

【参考書】随時紹介

実務年数（鍼灸院）18年

総合領域Ⅴ（解剖）

[はり師きゅう師学科 昼夜] 3年生 (後期) 2単位 講義

専任教員 澤口 真也

【一般目標 (GIO)】人体の構造と機能を理解し、その名称や作用などを確認することで、西洋医学的な知識と、経穴を中心とする東洋医学的な知識が繋がるように復習する。

【授業概要】総合領域では、人体の基本的な構造と機能を再確認すると同時に、経絡経穴との関連性が身に付くよう復習する。随時練習問題を解き、国家試験に対する問題解答力の向上を図る。

【授業計画】 後期

回	項目	到達目標 (授業内容)
1	循環器系 1	循環器系、心臓を復習し、演習を行う。
2	循環器系 2	血管系 (動脈) を復習し、演習を行う。
3	循環器系 3	血管系 (静脈、血圧とその調節、リンパ系) を復習し、演習を行う。
4	循環器系と経穴	循環器系と経穴の関係性を復習し、演習を行う。
5	血液と免疫	血液、生体防御機構を復習し、演習を行う。
6	呼吸器系	呼吸器系の構造と機能、呼吸とその調節を復習し、演習を行う。
7	消化器系 1	消化と吸収 (口腔、咽頭、食道、胃、小腸) を復習し、演習を行う。
8	消化器系 2	消化と吸収 (大腸、膵臓、肝臓、腹膜) を復習し、演習を行う。
9	消化器系 3	消化と吸収 (食欲、代謝と栄養) を復習し、演習を行う。
10	泌尿器系	泌尿器系を復習し、演習を行う。
11	内臓器系と経穴	呼吸器系、消化器系、泌尿器系と経穴の関係性を復習し、演習を行う。
12	内分泌系 1	内分泌系の総論を復習し、演習を行う。
13	内分泌系 2	体温を復習し、演習を行う。
14	生殖 1	生殖を復習し、演習を行う。
15	生殖 2、身体に加齢変化	妊娠と発生、生体のリズムと加齢変化を復習し、演習を行う。
16	局所解剖	局所解剖を復習し、演習を行う。
17	定期試験	理解度の確認。四者択一。
18	試験返却・解説	試験の解説。
19	総復習 1	練習問題を解き、復習する。
20	総復習 2	練習問題を解き、復習する。

【方略】板書を中心として講義を行う。

【評価方法と基準】期末試験で評価を行う。

【学生の質問への対応】授業中、勤務時間内

【教科書】社団法人 東洋療法学校協会編集 内田させ・鍵谷方子・原田晃・原田彰宏 著

「解剖生理 第1版」 医歯薬出版株式会社

【参考書】随時紹介

実務年数 (鍼灸院) 18年

総合領域VI（東医概）

[はり師きゅう師学科 昼夜] 3年生（後期） 1単位 講義

非常勤講師 飯村 雅代

【一般目標（GIO）】一年次・二年次に学習した東洋医学概論の内容を再確認し整理する。基本的な項目を確実に理解、記憶する。国家試験に出題される応用的な問題にも対応できるようにする。

【授業概要】項目ごとにプリントや教科書を用い、過去の国家試験問題を解き、解説をしていく。

【授業計画】 後期

回	項目	到達目標（授業内容）
1	東洋医学の思想について 生利物質について	陰陽・五行学説など基本的な東洋医学の思想を理解、記憶する。気・血・津液など生利物質の生理と病理を理解、記憶する。
2	蔵象学説について	五臓六腑の生理と病理を理解記憶する。
3	四診について	望・聞・問・切診について理解、記憶する。
4	病因病機について 弁証について1	病因・病機について理解、記憶する。 八綱弁証、六経弁証などについて理解、記憶する。
5	弁証について2	経絡弁証などについて理解、記憶する。
6	論治について	各種論治（治療法）について理解、記憶する。
7	期末試験	
8	期末試験 解説	試験解説
9	東洋医学概論 総合演習	総合演習①
10	東洋医学概論 総合演習	総合演習②

【方略】講義及び問題の解答

【評価方法と基準】期末試験の結果をもって評価する。

【学生の質問への対応】出勤時間内

【教科書】新版 東洋医学概論（医道の日本社）

【参考書】随時紹介

実務年数（鍼灸院）5年